

扉につける お知らせライト — 無線タイプ —

取扱説明書

【セット内容】 本体(2台)／取扱説明書(保証書付)

このたびは、扉につけるお知らせライト(無線タイプ)TAL25をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は保証書を兼ねています。すぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容、製品の仕様、デザインなどは予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の作成には万全を期していますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

キングジム、KING JIM、扉につけるお知らせライトは、株式会社キングジムの商標または登録商標です。

保証規定

- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げ販売店、または取扱店までお持ちください。当社が無償で修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げ販売店にご依頼ください。
- ご転居やご贈答品等で、お買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、キングジムお客様相談室へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (1) 使用上の誤りや、お客様による修理または改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の浸(冠)水、塩害、液体かぶり、落下、衝撃、砂(泥)入り、圧力等による故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) キングジム製品以外の消耗品や部品の使用に起因して生じた商品の故障および損傷
 - (5) 本保証書の提示がない場合
 - (6) 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名の記入および販売店印のない場合、または購入日が証明できるものがない場合
 - (7) お買い上げの商品が、使用後に有償無償を問わず譲渡されたもの(中古品)であった場合
 - (8) 本体内蔵部品の消耗、磨耗、損傷

5. 同梱付属品、別売品の保証、修理は承っておりません。

6. 保証期間内であるか否かにかかわらず、当社に故意または重大な過失がある場合を除き、お客様が商品を使用することによって発生した直接損害または間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラム、その他の無体財産に関する損害、使用利益、および得べかりし利益の損失等に対して、当社は一切責任を負わず、また当社に故意または重大な過失がある場合には、商品代金を限度額としてのみ、これを賠償する責を負うものとします。

7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

8. 本保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※本保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

アフターサービス

■保証書

保証書は販売店名・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。製品をお買い上げ販売店までお持ちください。なお、当社の都合により代替品に交換することで修理に変えさせていただく場合がございます。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム商品取扱店、または当社お客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話からの場合 **0570-06-4759** (通話料お客様負担)

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031

<https://www.kingjim.co.jp/>



アンケート実施中

<http://kj-q.com>

抽選で贈礼を差し上げます

※接続料・通信料は

お客様負担となります。

安全上のご注意 必ずお守りください!

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

● 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

⚠ は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

🚫 は、してはいけない「禁止」の内容です。

🔥 は、必ず実行していただきたい「強制」の内容です。

⚠ 危険	この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
⚠	本製品は強力なマグネットを使用しております。ペースメーカーなど電子医療機器を装着した人、およびその他の電子医療機器へ本製品付属のマグネットを近づけることは大変危険です。医療機器の正常な動作を損なうおそれがあります。ご注意ください。
🚫	高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下)、湿度の高い場所、ほこりの多い場所での本製品の使用や放置、保管をしないでください。発熱・破裂・発火の原因となります。
🔥	電池の液が目に入ったときは、失明などの障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。
🔥	電池はお子様飲み込まないように、手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと大変危険です。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 警告	この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
🚫	本製品を分解、または改造しないでください。故障、火災、感電の原因となります。
🔥	電池の使い方を誤ると、漏液、発熱、破裂、けが、または故障の原因となります。電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しくお使いください。
🔥	本製品を長時間使わない場合や、電池を使い切った場合は、本製品から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
🔥	電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。
🔥	電池は極性を正しく入れてください。間違った極性で入れた場合、電池を漏液、発熱、破裂させる、または本製品を破損させるおそれがあります。
🔥	必ず指定の電池(単3形アルカリ乾電池)をお使いください。本製品の誤作動や故障の原因となり、また電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

⚠ 注意	この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。
🚫	本製品に強い衝撃を与えないでください。破損するおそれがあります。
🚫	本製品を屋外で使用しないでください。また、防水・防塵仕様ではありません。
🚫	本製品を直射日光の当たる場所、激しい振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所で使用や放置、保管をしないでください。
🚫	本製品はマグネットが使用されています。マグネット部に、磁気の影響を受けおそれのあるものは近づけないでください。本製品のマグネットにより磁化されて使用できなくなるおそれがあります。
🔥	万一、本製品または本製品の一部が破損した場合、そのまま使用せずすぐにご使用を中止してください。

取り扱い上のご注意

本製品は、連絡・報知用であり、生命救助、事故・犯罪防止を目的とする機器ではありません。死亡、傷害、犯罪などの被害における責任は負いかねますのであらかじめご了承ください。

● センサーの感知範囲を素早く通り過ぎる、センサーの真正面から近づくなどの場合、センサーが感知しないおそれがあります。

● 動作環境の温度範囲を超えると感知性能低下や誤動作の原因となるおそれがあります。

● センサーに衝撃が加わると変形や損傷により、感知性能低下、誤動作の原因となるおそれがあります。

● 防火戸(防火扉)では、その目的を侵害するおそれがある場合は使用しないでください。

● 電池の容量が少なくなると正常に動作しない場合があります。

● 本製品が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装が変質するおそれがありますので、使用しないでください。

電波に関する注意事項

本製品は、電波法に基づく2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムの無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用する際に無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項をおこなうと法律に罰せられることがあります。

- ・本製品を分解／改造すること
- ・本製品に記載の証明マーク※1を消すこと

本製品は2.4GHz無線機や無線LAN機器と同じ周波数帯域であり、同じ周波数帯域を使用する他の機器に影響を与えることがあります。

- ・本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※2」が運用されていないか確認してください。
- ・万一、本製品と「他の無線局※2」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。

※1 特定無線設備の技術基準適合マーク(技適マーク)は、本体背面右下のラベルに表示されております。

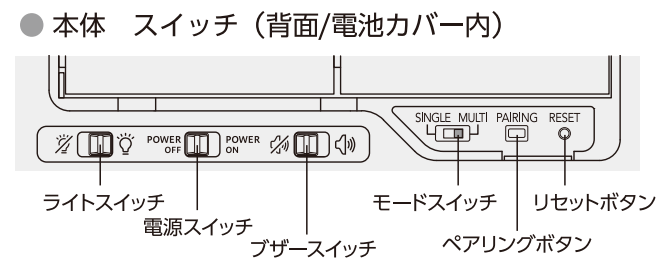
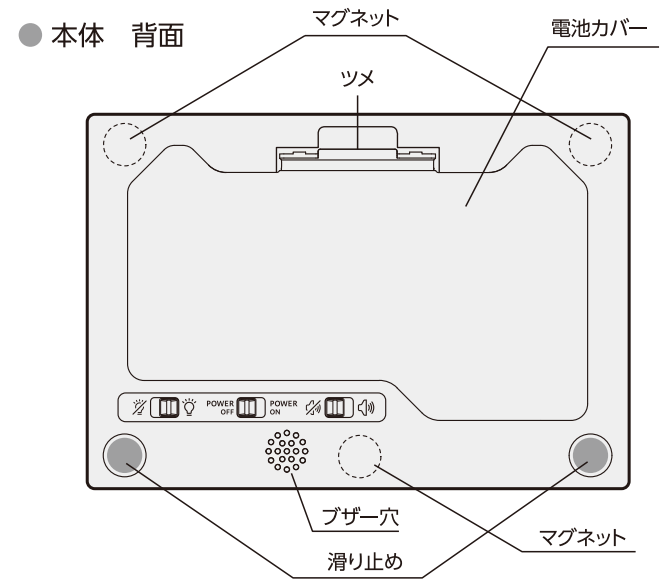
※2 「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHzを使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

主な仕様

外形	1台あたり約130(W) × 44(D) × 90(H)mm
質量	1台あたり約176g(電池含まず)
通信方式	無線通信(2.4GHz帯)
通信距離	最大約10m
電源	1台あたり単3形アルカリ乾電池 × 6本(別売)
電池寿命	約2年(1日あたり30回センサーが感知時)
感知距離	本体に向かう時：最大約1.5m 本体の正面を横切る時：最大約4.0m
感知角度	水平方向：約120° 垂直方向：約120°
動作環境	温度：5～35℃ 湿度：30～80% ※非結露
保存環境	温度：-10～55℃ 湿度：5～80% ※非結露
セット内容	本体(2台) 取扱説明書(保証書付)

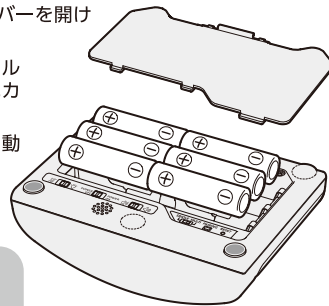
※使用環境・状況によって異なります。

各部の名称と機能



電池の入れ方

1. 電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
2. 本体背面にあるツメを押し、電池カバーを開けます。
3. +の極性表示に合わせて、単3形アルカリ電池(別売)6本を入れて、電池カバーを閉めます。
電池交換後は電源を入れなおすと自動で再接続されます。
4. 2台目の本体も同様に電池を入れてください。

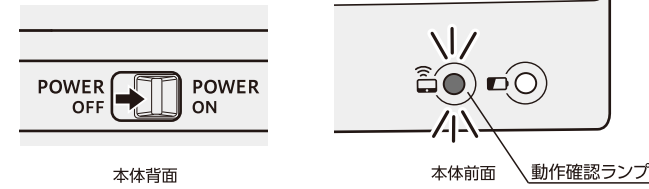


!! ご注意 !!

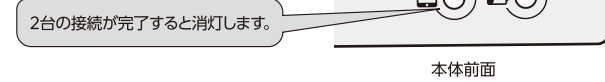
- ・電池残量が少なくなると、電池交換ランプが赤色に点灯します。すみやかに新しい電池と交換してください。

使用方法

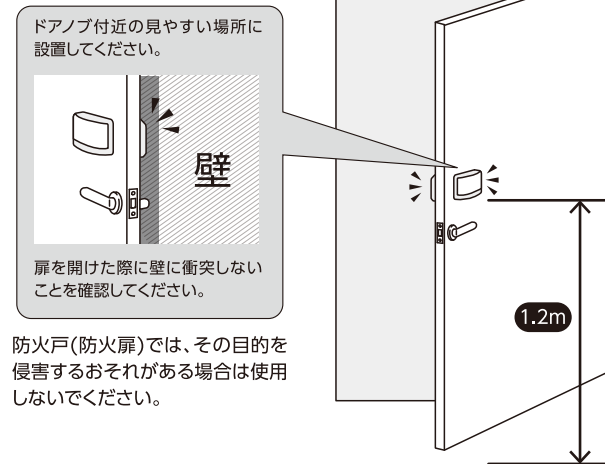
1. 1台目の本体の電源スイッチをONにし、動作確認ランプが緑色に早く点滅していることを確認します。



2. 2台目の本体の電源スイッチをONにすることで、自動でペアリングが完了し、動作確認ランプが消灯します。



3. 接続状態の2台を床から1.2m程度の高さに設置します。



4. センサーが感知時、メインLEDライトが動作することを確認してください。

!! ご注意 !!

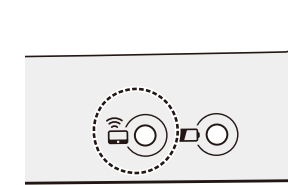
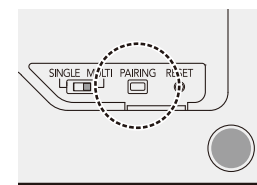
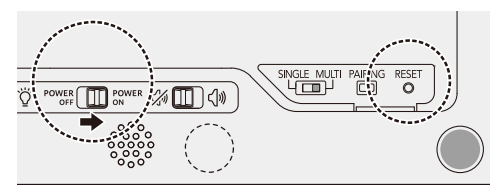
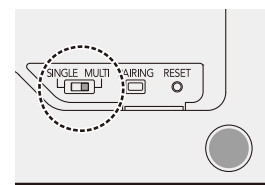
- ・平滑できれいな面でご使用ください。
- ・設置した面により保持力が異なりますので、落下しないことを十分にご確認のうえ、お使いください。
- ・無線通信の最大距離は約10mです。接続状態は設置環境によって不安定になる場合がありますのでご注意ください。

ご購入時はブザースイッチがOFFになっています。メインLEDライトの点滅と同時にブザー音を鳴らしたい時は、本体背面のブザースイッチをONにしてください。

本体の再接続方法(自動で再接続できない場合)

電池交換時は、電源を入れ直すと自動で再接続されます。再接続されない場合は下記手順をおこなってください。

1. モードスイッチが2台ともMULTIになっていることを確認します。
2. 電源スイッチがONの状態、2台それぞれリセットボタンを先の細いもので約2秒長押しします。
3. どちらか1台のペアリングボタンを約2秒長押しします。
4. 動作確認ランプが消灯すると完了です。

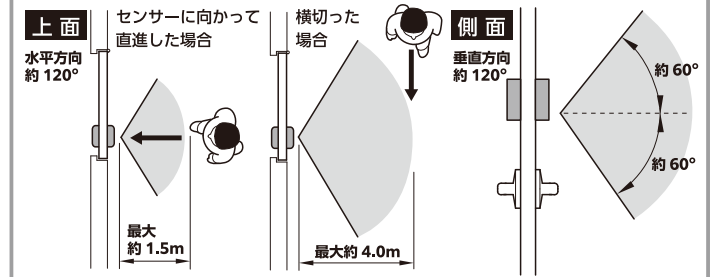


動作イメージ



人感センサーについて

本製品は、人感センサーを使用しています。本製品は床から1.2m程度の高さに設置してください。その場合の感知距離および角度は下の図をご確認ください。



- 1) 人感センサーは感知範囲内の赤外線が発生源の動きを感知します。そのため、人体だけでなく、下記の状況でも反応することがあります。

<誤動作の可能性がある場合>

- ・設置された扉の開閉により、センサーの感知範囲内に変化があったとき
- ・小動物(犬、猫、ネズミなど)が通過したとき
- ・エアコンなどによる空気の対流で、急激な温度変化がセンサーの感知範囲内であったとき

- 2) 人感センサーは感知範囲内でも赤外線が発生源の動きを感知できない場合があります。

<動作しない可能性のある場面>

- ・周囲の気温と人の体温の差が小さいとき
- ・ガラスなど赤外線を透過しにくい物体がセンサーと感知物体の間にあるとき
- ・人が動かず静止しているとき
- ・センサーにほこりなどが付着しているとき

故障かな?と思ったら

- Q1. 人がいるのにペアとなる本体のメインLEDライトが点滅しない。
- A1. 電源をONにした直後や再接続した直後は、最大40秒程度センサーが反応しない場合があります。しばらくお待ちください。
- A2. 本体背面のライトスイッチがONになっているかご確認ください。
- A3. 本体同士の接続が切れていないかご確認ください。接続が切れている場合、動作確認ランプが緑色に早く点滅します。本書の「本体の再接続方法」に従い再接続してください。
- A4. 電池残量が少ない可能性があります。新しい電池と交換してください。
- A5. センサーの感知範囲をご確認ください。
- A6. モードスイッチが2台ともにMULTIになっているかご確認ください。

本体背面/電池カバー内のモードスイッチをSINGLEに切り替えると、本体1台のみで動作確認ができます。

